

農業委員会委員の一般選挙が行われます

選挙管理委員会事務局
各総合支所（総務課内）
選挙管理委員会支局
☎23-9124

告示
七月十三日(日)

投票日および投票時間
七月二十日(日)
午前七時～午後六時

※鳴子温泉区域の向山除雪センター、上原集会所、寒湯生活改善センター、旧岩入分校では午後四時までとなります。

今回投票できる人

市内に住所を有し、昭和六十三年四月一日以前に生まれ、一定面積以上の農地を耕作している人およびその同居の親族または配偶者のうち、本年三月三十一日に確定した選挙人名簿に記載している人。
※基準日が本年一月一日現在のため、一月二日以降に転入した人などは投票できません。

投票所入場券

投票所入場券は、七月十四日(月)に郵送予定です。(投票になった場合のみ発送)

期日前(不在者)投票

仕事や用務または旅行などのため、投票日に投票できない人は、期日前(不在者)投票ができます。

投票所
選挙区ごとの投票所数は、次のとおりです。投票所の名称は投票所入場券に記載していますので、ご確認ください。
①第一選挙区(古川・荒雄、敷玉) 二カ所 ②第二選挙区(志田、西古川、東大崎、高倉) 四カ所 ③第三選挙区(宮沢、長岡、富永、清滝) 四カ所 ④第四選挙区(松山) 二カ所 ⑤第五選挙区(三本木) 八カ所 ⑥第六選挙区(鹿島台) 八カ所 ⑦第七選挙区(岩山) 八カ所 ⑧第八選挙区(鳴子温泉) 十二カ所 ⑨第九選挙区(田尻) 八カ所

古川区域の人は市役所本庁のみ、その他の区域の人は、選挙区を管轄する総合支所でのみ行うことができます。(入場券を持参ください)
なお、身体に重い障害がある人の郵便による不在者投票

立候補の届出

農業委員会委員に立候補する人は、七月十三日(日)午前八時三十分から午後五時までに、文書で次の場所まで届出をしてください。

選挙区	場所	定数
第1	市役所本庁	4人
第2	市役所本庁	6人
第3	市役所本庁	5人
第4	松山総合支所	2人
第5	三本木総合支所	3人
第6	鹿島台総合支所	5人
第7	岩山総合支所	5人
第8	鳴子総合支所	3人
第9	田尻総合支所	7人

立候補届出場所と定数
広報おおさき六月号で第一選挙区の定数を「六人」と掲載しましたが、「四人」の誤りでした。お詫びして、訂正いたします。

■国民健康保険事業

平成十九年度国民健康保険事業決算状況の概要について

市の国民健康保険財政は、被保険者からの国民健康保険税が収入全体の約三割を占めています。
国民健康保険税は、その年の医療費見込額から国・県からの支出金や市の一般会計からの繰入金などを差し引いた残りの額を被保険者に負担していただいています。その大

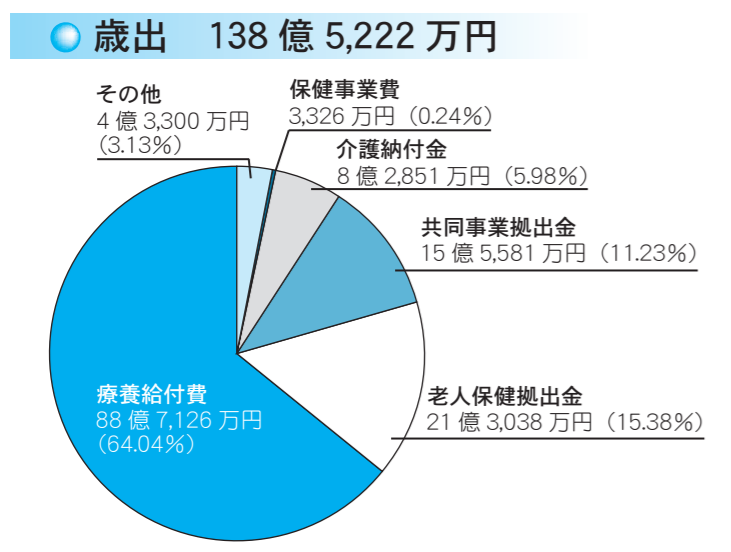
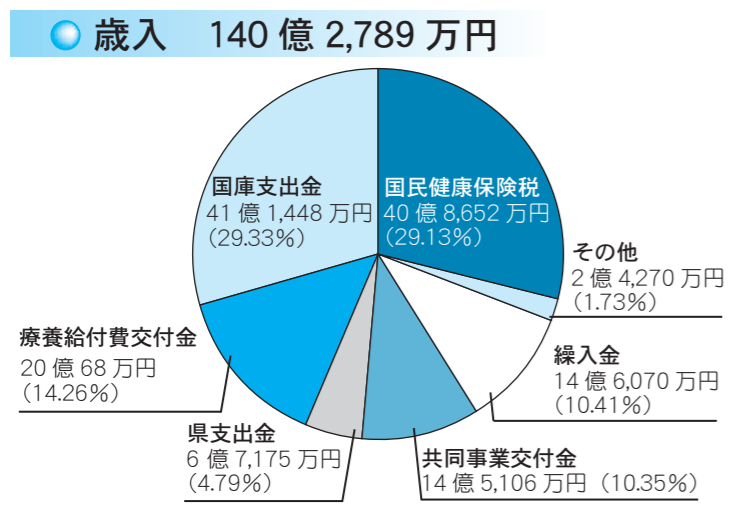
部分は、医療費の支払いに充てられ、国民健康保険財政を支える大切な柱となっています。
また、歳出では、療養給付費(被保険者の本人負担以外の医療費)が全体の約六割を占め、次に老人保健拠出金(老人保健の医療費)に多く支出されています。



財政調整基金とは、国民健康保険事業の安定的な財政運営を図るための積立金です。

問 保険給付課 国民健康保険係 ☎23-6051

平成 19 年度国保財政決算(見込み) 状況



ままたご
DC NEWS
仙台・宮城デスティネーションキャンペーンまであと3か月! HOTな話題をお届けします

車内を盛り上げよう!

問 デスティネーションキャンペーン局 ☎23-7097

新型リゾートトレイン「みのり」運行に伴うおもてなし「アトラクション」参加者募集

「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」を機に陸羽東線を新型リゾートトレイン「みのり」が10月から12月までの間、毎日運行されます。この車両は、3両編成で2号車にはステージが設置されており、ちょっとしたアトラクション等を披露することができます。

市では、JR東日本からこのステージを借り受け、地域の皆さんの「昔語り」「民謡」「踊り」「ギター」等のカルチャーの発表の場とするとともに、お客さまへの「おもてなし」を通じたコミュニケーションの場として活用していきます。

つきましては、以下のとおりステージでの発表者を募集します。

- 期間 10月1日(水)～12月31日(水)
- 場所等 陸羽東線「古川駅」～「鳴子温泉駅」間の車内ステージ
- その他 ①ステージは10分以内とします ②車内では電気的な機器は使用できません ③太鼓等は音量の関係から不可とします ④乗車賃ならびに復路の乗車賃は無料とします ⑤エントリー後は、JR東日本等で内容を審査し、出演の可否を決定します

※詳しくはデスティネーションキャンペーン局までお問い合わせください。

朝食の内容について

(大崎市食育推進計画より抜粋)

	主食を食べている率	主菜を食べている率	副菜を食べている率
5歳児(大崎市立幼稚園・保育所(園)年長児)	96.6%	79.3%	45.8%
小学5年生(大崎市立小学校)	94.6%	75.7%	57.3%
中学2年生(大崎市立中学校)	94.3%	70.8%	54.8%
成人(上記の保護者)	94.1%	83.8%	61.7%

平成19年度大崎市教育委員会食生活についてのアンケート結果より

- 主食…ごはん、パン、めん類などの穀類で、主に炭水化物によるエネルギー供給源
- 主菜…魚や肉、卵、大豆製品などを使った料理で、主に良質たんぱく質や脂質の供給源
- 副菜…野菜などを使った料理で、主食・主菜で不足するビタミン・ミネラル・食物繊維の供給源

主食、主菜、副菜を基本に栄養バランスを考えた食生活を

食育通信 vol.3

問 商業・地域ブランド振興課 地域ブランド推進係 ☎23-7091

本市のアンケート結果から「副菜」である野菜不足が懸念されます。
これは、子どもの野菜嫌いや野菜料理に手間がかかることなどが原因のひとつと考えられます。
また、国で示した「国民健康・栄養調査」の結果でも、脂質のとりすぎや野菜不足が指摘されています。野菜を食べることは、必要性を理解し、栄養バランスのとれた食事の習慣を身に付けることが大切です。